



潮がい

平成29年 第4回(12月)定例会

- 一般会計補正等 ②～④
- 一般質問 12人が登壇し町政を問う ⑤～⑬
- 広報調査特別委員会研修報告等 ⑭

火の用心!!

～ 平成30年消防出初式 ～



こんなことが決まりました

第4回定例会

12月14日～20日(7日間)

町長から提案された条例の制定と一部改正、補正予算、人事案件などを慎重審議し、全て原案のとおり可決した。
一般質問は12人が行い、さまざまな角度から町の姿勢をただした。

後期高齢者医療特別会計

242万1千円減額し

総額 **18億8980万円**

国民健康保険特別会計

704万7千円減額し

総額 **26億849万2千円**

一般会計

3175万4千円追加し

総額 **66億8541万8千円**

一般会計補正予算

(1) 産地パワーアップ事業

補助金 …… **1554万円**

(2) 農地中間管理機構集積

協力金 …… **343万円**

(1) 地域一丸となって収益力向上に一体的かつ

計画的に取り組む産地において、生産体制の

強化に向けた取組のためにリース導入する

農業機械について、1/2以内の額の補助。

(2) 農業の生産性を高め、競争力を強化していく

ためには、担い手への農地集積・集約化を加

速し、生産コストを削減していく。

● 総合行政システム開発

委託料 …… **275万円**

マイナンバーカード、パスポート等における
旧姓使用の拡大に向けた取組。



(1) 清里小学校特別支援改

修工事費 …… **214万円**

(2) 清里小学校特別支援教

室エアコン …… **66万円**

(3) 長洲中学校特別支援教

室エアコン …… **78万円**

条例の 制定など

長洲町地域優良賃貸住宅基金条例の制定について

【内容】

長洲町地域優良賃貸住宅の維持管理及び整備に要する財源に充てるため。

問 (大森議員)
この基金は民間企業でいう貸借対照表上で考えると、預かり金のようなものか。

答 (まちづくり課長)
家賃等の収入と維持管理料、建設に関する割賦払い分等の支出があり、その差し引きの余剰分を基金として積み立てていく。

問 (大森議員)
第5条で「町長が必要と認めるときは」とあるが制限はあるのか。

答 (まちづくり課長)
繰り入れに関する歳入等を予算で議決していただく必要がある。

長洲町駐車場条例の一部改正について

【内容】

長洲駅西側駐車場を廃止するため。

長洲駅南口駐車場の指定管理者の指定について

【内容】

施設名

長洲駅南口駐車場

指定管理者

アマノマネジメント

サービス株式会社

代表取締役

野川文吾

指定期間

平成30年3月1日～

平成35年3月31日

あらたに生じた土地の確認について

【内容】

公有水面の埋め立てにより土地を生じたため。

長洲字上式丁目

3328番22の地先

465・01㎡

長洲字上壱丁目

3325番11

3328番22の地先

1万1314・03㎡

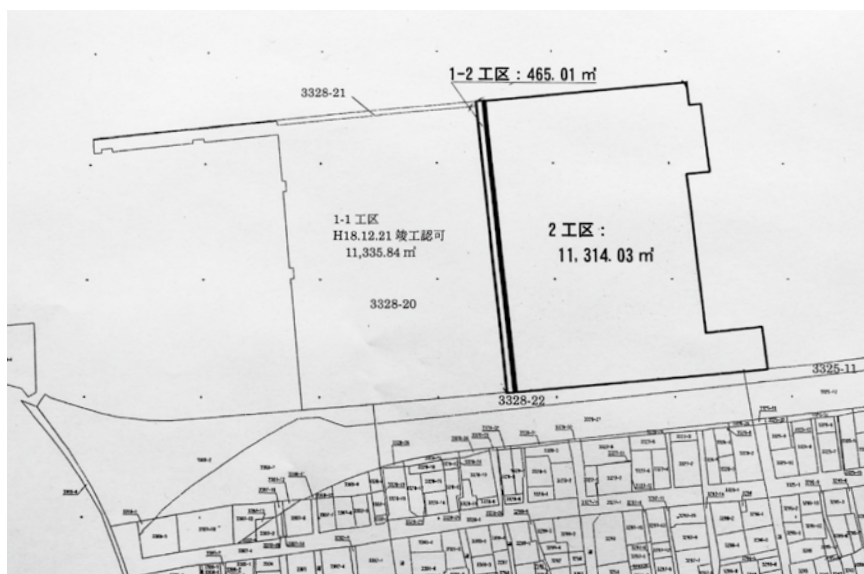
問 (磯野議員)
登記名義人は。

答 (建設課長)
熊本県になる。

字の区域の変更について

【内容】

新たに生じた土地を長洲町大字長洲字上式丁目編入する。



新たに生じた土地

人事案件

教育委員会委員



坂本 裕文氏
(向野区)



徳田 美津子氏
(宮ノ町区)



池田 一吉氏
(塩屋区)



中尾 清志氏
(腹赤区)

固定資産評価審査委員会委員

人権擁護委員

審議結果

<全議案可決>

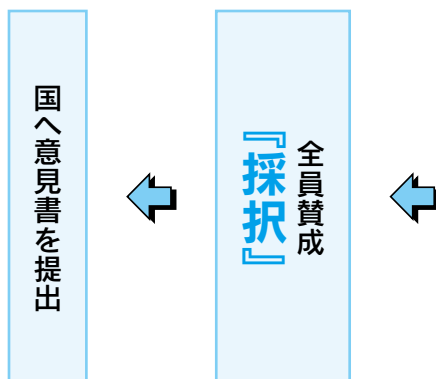
賛成…○ 反対…× 欠(退)席…欠
*議長は表決に加わりません。

議案番号	件名	前田美和子	中川雅明	福本みや子	大森秀久	竹本信次	荒木睦子	磯野博	浦邊朝章	宮本哲太郎	濱村芳光	福永栄助	松井一也	濱崎久	徳永範昭
議案第34号	長洲町地域優良賃貸住宅基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第35号	長洲町駐車場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第36号	長洲駅南口駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第37号	あらたに生じた土地の確認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第38号	字の区域の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第39号	平成29年度長洲町一般会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第40号	平成29年長洲町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第41号	平成29年度長洲町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第13号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第14号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第15号	長洲町固定資産評価審査委員会の委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議提第4号	道路整備事業に係る補助率等のかさ上げ措置の継続に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—



国へ意見書提出

道路整備事業に係る補助率等のかさ上げ措置の継続に関する意見書



「平成28年熊本地震」は、本県に未曾有の被害をもたらした。移動手段を自動車交通に大きく依存している本町においては、主要町道の整備、また既存道路施設の老朽化対策を図る必要がある。現在、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定により、交付金事業の補助率がかさ上げされているが、この特別措置は平成29年度までの期限措置となっており、このまま廃止されると自主財源に乏しい地方自治体にとっては、地域の持続的な発展が困難なものとなる。よって国におかれては、道路財特法の補助率のかさ上げ措置について、平成30年度以降も引き続き継続するよう強く要望する。



活発な活動で元気づくり(向野区)

問 町内では、加速する高齢化社会を見据え「元気に暮らせる町づくり」を目指し、32箇所の介護予防拠点施設等で脳トレ、元氣アップ体操などさまざまな活動が行われているが、その現状と課題は。

答 (町長)
今年度は、参加者

が9千人を超えている。介護認定率も16・4%にまで減少しこれまでの活動の結果が出ている。しかしながら、男性の参加者が少ないなどの課題もあるため、今後もものづくり塾やスポーツの教室など多くのの方々が参加できる取り組みを進める。



前田美和子議員

介護予防拠点施設等を更に活性化を

答 介護予防活動を活発化し、充実を図っていく

問 介護予防拠点間でのお互いの活動を知り、また取り入れるなどの交流はあるのか。

答 (福祉保健介護課長)
一緒に事業を行うという交流を行っている地域もある。他の公民館への参加もあり交流は進んでいる。

問 介護予防だけではなく医療の情報提供を行っているかどうか。

答 (福祉保健介護課長)
介護予防拠点施設等連絡協議会の中で医

問 介護予防だけでなく医療の情報提供を行っているかどうか。

答 (福祉保健介護課長)
介護予防拠点施設等連絡協議会の中で医

街路灯・防犯灯の設置について 今後の計画は

答 設置については、

素早く対応していく

問 安心安全の町づくりのための街路

灯、防犯灯の設置状況は。

療の講演会等の情報提供や生涯学習的な活動情報も提供している。町ではさまざまな分野での活動を介護予防拠点施設等で実施出来るよう積極的に働きかける。

問 今後企業との連携事業については。

答 (福祉保健介護課長)
昨年は(株)DHCと連携しメイクアップ教室を開催した。今後は活動の内容や予算も含め前向きに検討する。

問 町内に257箇所設置、町設置の街路灯、防犯灯は前年度まで156基、今年度43基新設している。

答 (町長)
子どもたちの安全が一番だが通学路はまだ暗い箇所がある。通学路の把握はしているか。

問 町が1番だが通学路はまだ暗い箇所がある。通学路の把握はしているか。

答 (総務課長)
町の街路灯、防犯灯は町の地図情報シス



夜道を明るく照らす灯

問 町内に257箇所設置、町設置の街路灯、防犯灯は前年度まで156基、今年度43基新設している。

答 (町長)
子どもたちの安全が一番だが通学路はまだ暗い箇所がある。通学路の把握はしているか。

問 町が1番だが通学路はまだ暗い箇所がある。通学路の把握はしているか。

答 (総務課長)
町の街路灯、防犯灯は町の地図情報シス

テムで管理している。学校からの要望等があれば現場を確認し設置する方向で進めている。児童生徒が安心安全に通学できるよう整備に今後取り組んでいく。

問 区と区の境目に暗い箇所があるが。

答 (総務課長)
新規設置については、幹線道路や区の境目を対象に設置していく。



中川雅明議員

きんぎょタクシー増台後の登録者数及び利用状況は 答登録者数および利用者数共に増加している

問 きんぎょタクシーは、平成28年10月より2台から3台に増台され1年が過ぎた。登録者数および利用状況は増台する前とどのように変化したのか。

答 (町長) 増台前後の1年間で比較すると、登録者数は、3084人から3239人。155人の増加。利用者数は、1万5352人から1

万8307人。2955人増加している。
問 予約を断るケースは、増台前より緩和されたのか。

答 (まちづくり課長) お断り件数は、1/3程度に減少している。

問 緊急時の安全対策は、確立されているのか。

答 (町長) 緊急時の連絡を受けた時、町職員も現場に急行。運行事業者と協力し対応する体制をとっている。

問 要支援、要介護者への対応は。

答 (町長) 介護が必要な方は、つき添い人が同乗すれば、乗車できる。

問 玉名地域への運路開設、土曜日の運行新設については。

答 (町長) 玉名地域へは、既在バス路線、タクシー事業等との営利的な問題。長洲・玉名間には、バス路線、JR九州の機関があること。デマンド型交通は、営業区域内で完結すべき事を考慮すれば難しい。土曜日の運行については、一般タクシー事業者の経営の圧迫、人員配置増による財政負担等を考慮し、長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会で運行はしないとの協議された。

問 土曜日、高齢者限定で低料金で利用できる補助金付タクシーチケットを発行して

はどうか。

答 (まちづくり課長) いろんな自治体で施行されている。制度、利用者等を調査し、財政面も含めて総合的に検討していきたい。

問 金魚の町長洲をアピールする意味においても、運転手の方に、帽子、チョッキ等、金魚に関わるデザイン

をした制服を着用していただくのはどうか。

答 (まちづくり課長) 宣伝効果もあるもので運行事業者と協議し、検討していく。

※デマンド型交通 路線バスとタクシーの中間的な交通機関。予約があつた時のみ運行する方式



利用が増えるきんぎょタクシー



未相続の相談が多い



福本みや子議員

増える空き家をどう活かすのか

答 空き家バンクで全国に情報発信し活性化めざす

問 空き家調査後の現状と課題は。

答 (町長)
303戸の空き家をデータベース化して台帳管理した。空き

家対策計画を策定。空き家バンク事業も開始。49件の相談へ対応するが、未相続の相談が多く、課題となっている。

問 空き家は有効活用すべきだ。推進する補助制度はあるか。

答 (まちづくり課長)
空き家等除却事業補助金や空き家バンク活用時のリフォーム助成、バンク活用成約なら奨励金制度などがある。

問 空き家バンクへの登録希望者や空き家を探したい人の手順や、不動産業者の関わり方について伺う。

答 (まちづくり課長)
HPや広報誌、台帳登録者へ制度周知文書で呼びかけをしている。

希望者は町の窓口で調査を依頼し専門的な調査後、バンクに登録するとHPにて情報が公表される。不動産宅

建協会に紹介したのちは、個々に協議してもらう手順となる。

問 活性化させるための課題はなにか。

答 (まちづくり課長)
教育子育て支援施策などを強くPRし、総合的に情報を発信し

て登録につなげたい。

相続問題については戸籍係と粘り強くやっていく。空き家の定期的管理を希望することについてはシルバーセンターとも協議していきたい。

自治体連携の方向性は

答 小中学生の交流派遣計画

問 県内外の市や町と友好関係にあり、評価できる。今後の方向性はどうか。

答 (まちづくり課長)
子どもたちの交流や産業経済の連携協力を推進したい。

問 民間や町民レベルの交流を奨めるな

答 (教育長)
来年度瀬戸市の小

中学生との交流をしたく派遣することを考える計画中である。

答 (農林水産課長)
漁業は一年おきに研修視察している。農業も情報交換の場を考えていきたい。



広げよう!交流の輪を



大森秀久議員

入学準備金の前倒し支給が広がっているがどう考えるか

答 平成31年度の新入学生が適用になるよう実施していく

問 就学支援のひとつとして、入学準備金の前倒し支給が広がっている。この件についてどう考えるか伺う。

答 (教育長) 近隣の他市町でも検討されているが、当町は平成31年度の新入学生が適用になるよう

実施を考えている。

問 大きな前進と考える。対象者の把握は技術的にできると思う。ただ、前倒し支給した後で町から転出した後も考えられる。そこはどう考えるか。

答 (学校教育課長) 入学準備金を受け

とった後に転出された後の対策ですが、徴収しないところもあり、県内および管内の状況を精査、検討しながらやっていく。

問 小中学校を通して教育費で大きな割合を占める給食費の負担について、全額もしくは一部を無償化する考えがないか伺う。

答 (教育長) 給食費の負担を全

部もしくは一部無償化することは、現在のところ考えていない。

問 中学3年生まで医療費が無償化されているが、他町では高校3年生まで無償化しているところもある。本町も高校3年生まで拡充する考えはないか。

答 (町長) 今のところ高校生までの医療費無償化は考えていない。

【熊本の地域団体商標】*特許庁ホームページより作成

	登録されたもの	権利者
1	阿蘇たかな漬	阿蘇たかな漬組合
2	天草黒牛	天草畜産農業協同組合
3	天草ぶり	熊本県海水養殖業組合
4	荒尾梨	玉名農業協同組合
5	熊本名産からし蓮根	熊本県からし蓮根協同組合
6	球磨焼酎	球磨焼酎酒造組合
7	熊本いきなり団子	熊本菓子工業組合
8	くまもと茶	熊本県経済農業協同組合
9	小国杉	小国町森林組合
10	くまもと畳表	八代地域農業協同組合
11	黒川温泉	黒川温泉観光旅館協同組合
12	杖立温泉	杖立温泉観光旅館協同組合
13	菊池温泉	菊池温泉観光旅館協同組合

*地域名と商品名からなる商標が、地域ブランド育成の早い段階で商標登録を受けられるよう、H17年の通常国会で「商標法の一部を改正する法律」が成立しこの制度がスタートした。

【給食費無償化の自治体】

*熊本県

開始年度	自治体	備考
2014年度	山江村	
2015年度	水上村	
2017年度	荒尾市	小学校のみ

【給食費一部補助の自治体】

*玉名郡

自治体	月額
南関町	2,000円
玉東町	2,000円

【給食費一部補助本町に当てはめると】

区分	月額	年間予算額
小学校	2,000円	1,676万4千円
中学校	2,000円	794万2千円
合計額	2,000円	2,470万6千円

長洲ミニトマトは

地域ブランドを検討すべき

答 JA等も連携した話であれば

町は支援していきたい

問 農業後継者を確保し活性化を考える

とき、ミニトマトは長洲の代表的なものにな

っているが、地域団体

商標を活用した地域ブランドの創生が町独自で考えられないか。

答

(農林水産課長) 地域団体商標の申請は、JAや漁協がその地域の作物や水産物を登録していると思う。

長洲のJA等も連携した話があれば、町は支援していきたい。

問 県内の地域団体商標での登録は13件

ある。その中に「荒尾梨」があり、権利者は玉名農業協同組合になっている。このことは知っていたか。

答 (農林水産課長)

特許庁のホームページで登録されているのは確認している。



どうなるどうする・駅南側まちづくり構想



竹本信次議員

まちを活性化し賑わいを取り戻すにはどうするか 答賑わい交流拠点の整備と企業誘致を促進したい

問 まちを活性化し賑わいを取り戻すために駅南側を、住宅地や商業地として開発するまちづくり構想は、どう進めているか。まちの目指すべき姿を明確にし町民に示すべきではないか。

答 (まちづくり課長)
住宅地、商業施設、公共施設などを整備することで、良好な住宅空間を作り出すようなまちづくりを進めている。民間等の協力を得てまちづくりを推進していきたい。

問 賑わいを取り戻すために、人が集まる仕掛けとして交流人口の拡大に向けた観光振興をどう推進するか。

答 (町長)
金魚と鯉の郷広場を中心に広くPRし観光振興を図り、立花宗茂公正室の墓通称ぼたもちさんや有明海の夕日など、まだまだ埋もれている観光資源を磨き上げ、新たな観光組織の検討と情報発信手段を活用しながら、内外からの観光客の流れを戦略的に創出し、交流人口を拡大したい。

問 集まる交流拠点として位置付け、海の駅整備事業に約1億円を、「みなとオアシス整備事業」として、海岸地

答 (まちづくり課長)
域周辺の景観を楽しむ遊歩道や住民の交流広場等の整備に約7千万円を計上し、取組んでいる長洲港周辺整備計画の進捗状況とこれからの動向は、また期待される成果はあるか。

問 海の駅整備事業は、計画の見直しを行い、金魚と鯉の郷広場に展開できないか検討している。これまでみなと憩い広場や海岸周辺トイレの整備、金魚と鯉の郷広場のトイレの改修等を行った。成果は、有明フェリーの利用者や金魚と鯉の郷広場の来場者が増加している。

答 (町長)
名石浜工業団地に工場用地があるのに、成長産業の企業誘致



名石浜工業団地に成長産業の企業誘致を

問 致がなぜ出来ないか。企業誘致を行う際に、どのような戦略で活動され、企業誘致のターゲットは、どのような業種を考えているか。

答 (町長)
企業誘致の活動と

しては、本社等に足を運び要望等をするともに、熊本県と情報交換によって企業誘致を行っている。製造業以外の分野でも誘致できるように熊本県とも協議している。



荒木睦子議員

「はぐくみ館」を核として、安心な子育て支援とは

答 必要な支援の調整や関係機関との連絡調整に取り組む

問 平成29年4月に、はぐくみ館として開設した。子育てに切れ目のない支援に努力し、開設から8カ月がたち、その現状を伺う。

答 (町長) 開設後、延べ662件の相談、幼保巡回相談延べ63件あり、保健師や臨床心理士等の専門職が対応している。

問 学校児童生徒に関する相談はどのくらいか伺う。

答 (子育て支援課長) 延べ662件のうち延べ352件である。相談内容の主なもの、不登校や発達に関する相談が多い。

問 発達に問題がある子どもは、どのように関係機関と連携をとっているか。

答 (子育て支援課長) 学校からの相談を受けた際は、情報を共有し、情報を受け

有し、関係機関からのアプローチや、療育手帳の取得の支援等を行っている。

問 保護者への支援で何か取り組みを始めているか。

答 (子育て支援課長) 九州看護福祉大学に依頼し、育児が楽しくなり、育児への自信につながる目的にペアレントプログラム講座を実施し、好評となっている。

それに加え、海、田畑それに美しい風景等、長洲町の魅力をもっとPRしてはどうか。

答 (町長) 今行っているイベントを活性化させ、新たな観光資源を発掘し、近隣市町や有明フェリーと連携し、

長洲町の魅力を広くPRしていく。

問 観光客に対して、観光情報を知ることができる観光案内板の設置(つまり行きたい場所のマップコードを入力出来るようなもの)の考えは。

答 (まちづくり課長) 今現在、今年度の予算等で案内板を金魚と鯉の郷広場内に設置できればと考えている。携帯、スマホの時代に合ったデジタル的な情報発信ができればと思っている。



親子で遊びに来ませんか

答 金魚を活用した町のPRを

幅広く行い交流人口をふやしていく

問 伝統の地場産業である金魚は、長洲町の観光の目玉として効果も上がっている。



長洲町のPRに大きな力の1つ



磯野 博議員

将来に負担を残さない町政運営を

答行財政改革を徹していききたい

問 長洲町中期財政計画が示され、平成30年度から赤字収支の見込みだが今後本町はどのような計画性を持って財政再建を図っていくのか。

答 (町長) 本町の財政状況を見ると、法人町民税の浮き沈みによる影響を受けやすい財政構造に

ある中、少子高齢化、人口減少等の影響により、町税、地方交付税を初めとした歳入の見通しが不透明な状況にあり、社会保障費を初めとした経常経費の増加、公共施設等の更新、保全費用の捻出など、財政運営における課題が山積している状況にある。中期財政計画に

おいて平成30年度以降の収支不足を試算しているが、歳入歳出改革に取り組み、予算編成で解消することとしている。

問 この収支がマイナスになるおそれがあるかと判明したのはいつごろか。

答 (総務課長) 今年度4月に町長選挙があり、その政策も反映させることにし

ており、財政計画を作成し、要求額を全額計上するものとし、平成30年度以降を試算したところ、判明したところだ。

問 平成28年度の単年度収支は大幅な赤字であった。平成29年度の単年度収支の予測は。

答 (総務課長) 積算するのは現在のところ難しいところがある。ただ若干のプラスが発生する見込みだが、今後3月に地方

贈与税、各種交付金、特別交付税などを現時点で見込むことが出来ないで、若干のプラスも不透明な状況だ。

問 町民、企業、町全体で共通の危機感を持つて取り組まないと改善しないと考える。町民に厳しい財政運営を知らせるのか。

答 (総務課長) 財政計画についてはホームページ等で示していきたい。

問 財政再建に取り組む、将来に負担を残さない町政運営に努めて頂きたいが。

答 (町長) 安定して税収の確保、引き続き行財政改革を、徹していききたい。



黒字化を死守せよ

町民の方が理解できるように工夫を

答 わかりやすい言葉にかえていききたい

問 「広報ながす」12月号の9ページ、平成29年度予算執行状況欄を見ると現金不足

運営でないかと見受けられるが。

答 (町長) 収入済額が実際の収入額、執行済額は支

出負担行為額を示しているため、実際のキャッシュフローとは異なっている。

答 (総務課長) わかりにくい表記であった。今後町民の方にわかりやすい言葉にかえていききたいと思う。



わかりやすい言葉で

整備が望まれる^{よけ}灘の上地区

浦邊朝章議員

灘^{よけ}の上地区（長洲駅南側）の整備事業について

答 商業施設等の誘致を図りたい

問 灘^{よけ}の上地区の整備事業について町の考えは。

答 （町長）

今後は開発の起爆剤となる商業施設等の誘致を図るとともに、一層の住宅整備に取り組んでいく。

問 農地の区分はどうなっているか。また、宅地転用は問題ないか。

答 （農林水産課長）

農地の区分は、第1種農地から第3種農地まで、長洲駅から500m以内300m以内で2種3種農地と分かれています。通常転用可能な土地は、2種農地、3種農地のみであるが、立地基準の中に、第3種農地に立地困難な場合等に許可をする

条件がある。2種農地、1種農地でも転用可能な場合がある。

問 用途地域の指定はないという事であるが、無秩序な市街地の形成や非住居との混在が生じ良好な住環境とならない。用途地域は設ける必要があると思うがどうか。

答 （建設課長）

県に相談もしているが、現況では難しい状態である。

問 この地域はもともと圃場整備で出来ているから地権者の思いもある。開発や区画整理事業を進めることは難しいのか。

答 （まちづくり課長）

事業を推進するには、地権者の意見を聞き進めなければならぬ。現在、区画整理事業等の話はない。民間による開発等が誘導できないか考えている。

学校教育へのICT導入は

児童生徒の能力向上に大切なこと

問 ICT活用について町の取り組みは。

答 （町長）

現在、光通信を活用、健康体操やカラオケ等実施。農業分野ではNTTとミニトマト部会が連携、ビニール

問 学校教育へのICT導入は。

答 （教育長）

ハウスに計測装置を設置、生産技術の向上を図っている。また、きんぎょタクシーの運行や行方不明者の情報提供などICTを活用した事業展開を実施している。

度から新学習指導要領で小学校段階から全科での情報化を推進。具体的には、ICT機器を活用して授業改善、学習活動の充実を図り、教職員の校務の効率化、児童生徒の情報活用能力や思考力、判断力、表現力などを育成していく上で大切と認識している。



ICT教育の推進を



宮本哲太郎議員

ぼたもちさんを町の公園にしよう!!

答基本計画を策定していく

問 2020年放送予定で柳川市が立花宗茂と闇千代姫の物語を招致されている。女城主闇千代姫は腹赤村で病死となっておりこの物語がドラマ化されたら町でも撮影がある

答 (町長) と思う。病死した場所が俗名ぼたもちさんで史蹟として残されている。民有地なので町が購入して公園として管理をお願いする。

(町長)

立花宗茂婦人の墓で通称ぼたもちさんは、平成24年6月の熊日新聞やNHKで報道され多くの人が見学にいられている。今回の大河ドラマ招致委員会においても、闇千代さんのつながりで招致委員のひとりとして参加している。今後ドラマが決定すれば、闇千代さんのつながりで町にとっても光栄であると同時に、町から全国に情報を発信し観光の振興と地域の活性化につなげる絶好のチャンスと認識している。歴史の息づく潤いのある景観を創出し地域の活性を図るため、ぼたもちさんを中心とした公園整備に向けた基本計画を策定していく。



俗名ぼたもちさん



濱村芳光議員

学校教育におけるICT導入の計画は

答 教育委員会において導入計画を検討、策定

問 ICT導入校では学力に効果が上がっているとのことだが、導入計画はどのように考えているか。

答 (教育長) 本町の教育に適した活用方法を調査、検討するため、ICT検討会を設置し、この中

で協議を重ねて、導入に向けた取り組み内容を定め、教育委員会において導入計画を策定する。

問 特別支援教育の観点から必要性があるか。

答 (学校教育課長) 特別支援学級にお

いても、拡大とか、黒板とか、わかりやすくするために活用もされている。

問 現在のICT機器の台数では足りないのでは、今後の見込みは。

答 (学校教育課長) 将来は各教室にモニターを1台ずつ、電子黒板の機能を持たせるためのユニット等を備える。また、モニタ

問 そのためにはどれだけの経費が必要か。

答 (学校教育課長) テレビモニターが19台、モニター取り付けユニット関係が53台の経費が必要。普通教室以外の特別教室等にも将来的に必要な

い。また、モニタ

も将来的に必要な



ICT環境の整備を

上沖洲、鷺巣線の道路整備は

答 今後計画的に整備を進める

問 向野踏切から名古屋までの道路は凹凸があり、舗装が剥がれた所もあり危険である。対策は。

答 (建設課長) 交通上危険性がある場所は応急的な形で年間維持の舗装工事や部分舗装等の工事を出して対応する。

問 この道路は通学路で、中学生の自転車通学が多い。安心して通学できるようにすべきでは。

答 (町長) 隣接の地権者等々と協議を行い現在、水路のかさ上げおよび溝のふた、グレーチング設置の工事を行っており年内に完了する。

問 腹栄中体育館から北へ40メートル地点の歩道が整備されて

なく、深い溝になっている。歩行者にとって夜間は危険である。対策を。



早急な道路整備を



利用者に配慮した運行を



福永栄助議員

きんぎょタクシー登録者なのに利用できない人がいる

答 利用者に配慮した運行を検討する

問 きんぎょタクシー登録者でありながら、利用できない人がいる。道路が狭く、乗車できる場所まで歩いていかなければならないのだが、足が弱く、

そこまで歩くことさえ大変な状況であり、病院に行くためにも利用できない。こういった状況は、ほかにもあると聞いている。業務委託者として所見を伺う。

答 (町長)

3台体制後の平成28年10月から29年9月までの利用者が1万8307人となっており、今年度の利用者は1万9000人を超える見込みで、大幅に増加している。しかしながら、指摘のとおり車両が安全にリターンできない場所や進入できない場所等は安全面

を配慮して広い場所でも乗降してもらっており、利用者に長い距離を歩いてもらうと利用者に対して不便をかけることもある。今後ますます進む高齢社会においてさまざまな方の利用が見込まれるので、安心安全かつ便利に利用していただけるように利用者に配慮した運行を検討してまいりたい。

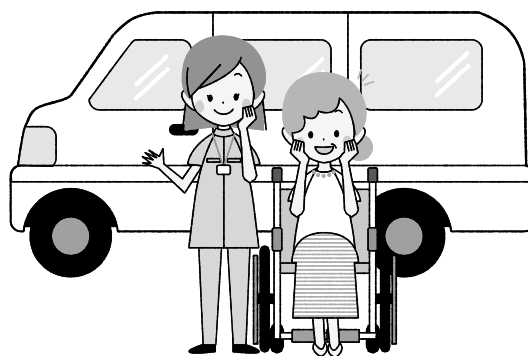
こういった状況について

答 大変申し訳なかった

問 こういった状況のその住民に対する町長の所見は、その所見があって、その後の対応は今述べられたとおりと思うのだが。

答 (町長)

やはり高齢者の利用が一番多いきんぎょタクシーです。狭い道、きんぎょタクシーが入れないときはどうするのかと、課題等がたく



さん私にも寄せられている。その方々の家からシルバーヘルパーなんかを活用する方法、あるいは極端に言えば、軽自動車を導入して、狭い道でも行けるよう、そういう方法もあるかと考えているところであるが、これも事業者

と委託者とさまざまな打ち合わせをしないかなければならない。費用面等も考えなければならぬ。そういった交通弱者、狭い道とか、そういうのに配慮に至らなかったというのは、本当に私も申し訳なかったと思っている。



濱崎 久議員

火葬場道路の整備を早くすべき

答 工事完了後に

問 まずは、第一点、火葬場道路の整備を、平成25年に要請したが、一日も早くすべきではないか伺う。

答 (町長) 長洲玉名線の供用開始を、平成30年度に向け、県も鋭意努力されているのでその後に4m道路として実施し

たいと考えている。
問 要請してから4年たっている、いつ出来るのか。

答 (建設課長) 平成30年度工事完了後の予定である。



早急な道路整備を

公文書の改ざんではないか

答 公文書の改ざんではない事務の停滞である

問 金魚村の不明事項は、公文書の改ざんではないか伺う。

答 (農林水産課長) 事務の停滞である。良いか悪いかわからないが、大変申し訳ない、私の独断でやむを得ず、口答で延長の許可を出した。

問 申請書の受取りは誰なのか。

答 (農林水産課長) わからない。
問 受付印は誰が押したか。

答 (農林水産課長) それもわからない。

問 担当課長は、この書類をいつ見たか。

答 (農林水産課長) いつ見たか覚えていない。私の机の中で眠っていた。事務が遅延したこと申し訳なく

問 法令の遵守は、地方自治体における事務遂行の大前提である。パソコンのシステ



答 (総務課長) ム管理者は誰か、証拠となるログファイルのデータの提出を望む。ものなので出せない。

広報調査 特別委員会

研修報告

「読む！質す！生かす！」

（於・熊本市町村自治会館）

11/16

広報における「客観と主観」熟議を通して

今回の研修は議会の改選後、新たに広報調査特別委員に選出された議員7人のうち、他の公務との関係で出席できなかった議員を除き、6人で参加しました。今回の参加者のうち2人は広報の作成について経験がなく、広報づくりのイロハから町民に読んでもらうために何が求められているのかといった深い内容にまでわたっての研修になりました。



活発な質疑応答が展開された

研修はあらかじめ申し込みのあった議会広報を他町村の参加者からコメントしてもらい、全体的なところから表紙や見出しの表現、文字数や色の使い方、さらには読者に関心を持ってもらうことや、興味深い事項の取りあげ方などについて、具体例を示しながら講師からのアドバイスを受け、それに対する作成側の意図がどこにあったのかを説明してもらいながら、さらに読んでもらうために何が大事で、何が足りなかったのかなどをひとつひとつ確認してゆく手法で進められました。

本町の議会だより「潮さい」は今回事前の申し込みをしておらず、講評の対象にはなりませんでしたが、今回の研修で得た知識を取り入れつつ、実際の編集にも活用し、読者に対していかに情報を伝え、より分かりやすい議会だよりにしてゆくか等々、参加した委員が新たなスタートを切る機会となりました。

追跡レポート あん質問はどがんなった

平成27年12月
定例会一般質問

婚姻をせずに子育てをしているシングルマザーに、寡婦控除のみなし適用が必要と考えるが？

答 弁

法律上、婚姻歴のあるひとり親世帯には税法上の寡婦控除が適用されるが、非婚には適用されない。子育ての状況に差がないのに、行政サービスに差が生じており、町もみなし適用ができないか検討したい。

その後

非婚ひとり親世帯にも寡婦控除のみなし適用が導入され、平成28年4月より保育料が、同年10月以降の募集により入居が決まった町営住宅の使用料が軽減されている。

寡婦控除のみなし適用について

税法上の寡婦控除では、対象となる人を夫と死別し、若しくは離婚した後婚姻をしていない人、又は夫の生死が明らかでない一定の人で、扶養親族がいる人又は生計を一にする子がいる人とし、婚姻歴のないひとり親を対象にしていることから、日本弁護士連合会が関係する省庁や、自治体にみなし適用を要望したことから、全国的に導入する自治体が広がっています。



町民のひろば

町民の声

心静めて書道教室

布谷 千寿子さん（宮ノ町区）

「おはようございます」「忙しかった？」など何げない会話から始まるグループ。

皆さん、ちょっと筆を執ってみませんか？

毎週火曜日、中央公民館にて午前9時30分から活動しています。

月刊誌「書の教室」を基に毎月出品をし批評を受け昇級（昇段）していきます。皆さん楽しみながら書いていますよ。町の文化祭にも出展しています。



傍聴席から一言

荒木 豊美さん（宮ノ町区）

長洲町に住んで良かった。毎日、新聞等のニュースを見てみると、天災人災、事件ばかり又、近隣国では大変な事が起きようとしています。国政でも疑問の多い事ばかり。それ等を考えると、我が長洲町は何事もなく安心して暮らせる事を、幸せに思います。

少子高齢社会を控え、財政きびしい中、諸問題山積と思いますが、町執行部の尚一層の努力をお願いします。

「長洲町に住んで良かった。」これからも頑張りましょう。新人議員さんの初めての質問、新鮮さがよかったです。期待します。

皆さん傍聴に出てこんね！

次の定例会は

3月12日(月)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先

議会事務局

電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書くだけです

ひと言

いつも議会だよりをご覧いただきありがとうございます。インフルエンザの流行のシーズンですね。かからないようにしっかりと予防しましょう。必ずうがい手洗いをを行いバランスのとれた食事をとりましょう。是非「まごわやさしい」を実践してみてください。

ま…豆、ご…ゴマ、わ…ワカメ海藻類、や…野菜、さ…魚、し…椎茸キノコ類、い…イモ類

一日の食事の中にこ

の食品をとりましょう。でも無理する必要はありません。いつもの食事にちょっとプラスでと考えてください。体にやさしい食事でこの冬を元気にのりきりしましょう。

（前田）

広報委員	
委員長	濱村 芳光
副委員長	前田美和子
委員	中川 雅明
委員	大森 秀久
委員	荒木 睦子
委員	磯野 博
委員	福永 栄助
発行責任者	議長 徳永 範昭